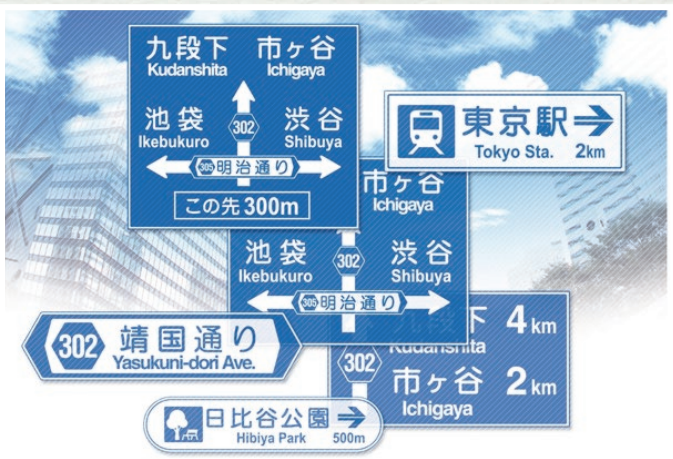


# 東京のまちづくり

東京都建設局

特集1 東京みちしるべ2020  
～誰にでもわかりやすい道路案内標識～

特集2 井の頭恩賜公園は開園100周年  
代々木公園は開園50周年を迎えます



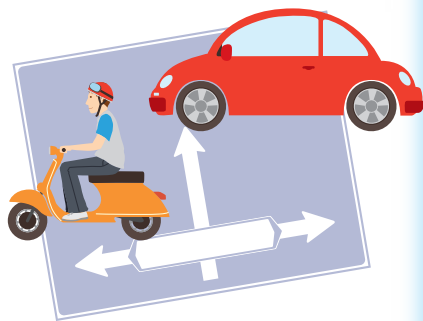
TOKYO

# 東京みちしるべ2020

## ～誰にでもわかりやすい道路案内標識～

問い合わせ先 道路管理部安全施設課 03-5320-5302

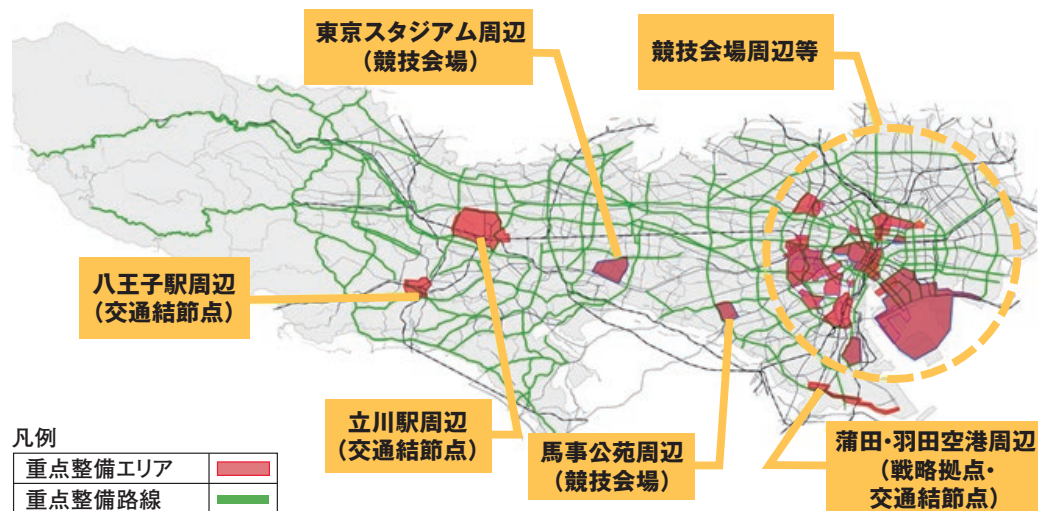
道路案内標識は、誰にでも見やすく、わかりやすい情報を提供し、道路利用者を安全かつ円滑に目的地に導くために欠くことのできない重要な道路施設です。建設局はこれまで、道路案内標識の充実や表示内容の改善など、誰もが安全かつ円滑に移動できる道路環境の整備を推進してきました。



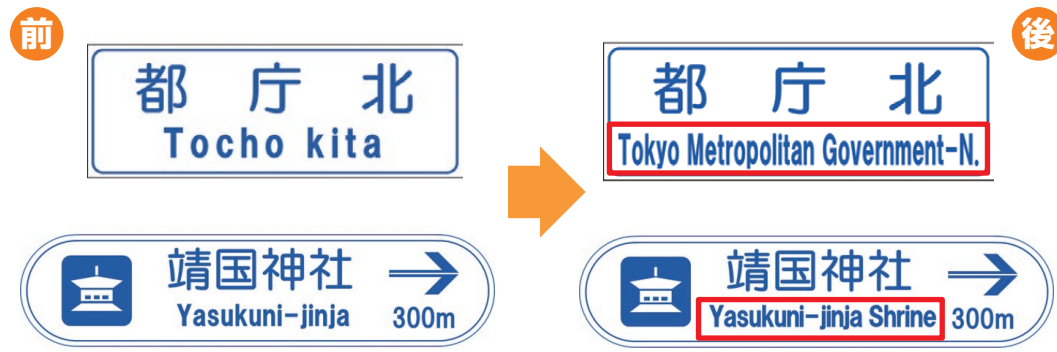
一方で、東京都を訪れる外国人旅行者数は、年々増加しており、平成28年は、過去最大の約1,310万人でした。また、今後、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催により、さらに多くの外国人旅行者が東京を訪れることが見込まれています。

そのため、平成28年1月に、道路案内標識の整備計画である「東京みちしるべ2020」を策定し、外国人を含めた全ての人にわかりやすい道路案内標識の整備に取り組んでおります。全ての都道においてローマ字併記から英語併記への改善を行っていきのはじめ、外国人旅行者が多く集まる東京2020大会の競技会場周辺や観光地、交通結節点などの周辺である重点整備エリアでは、ピクトグラム・路線番号の追加や施設案内の充実を進めています。さらに、車線数が4車線以上の道路や、多摩地域の主要地方道などの重点整備路線では、通称名表示の充実や視認性の向上に取り組んでいます。これらの取組により、平成27年度から平成31年度までの5年間で約10,500枚の道路案内標識の整備を進めていきます。

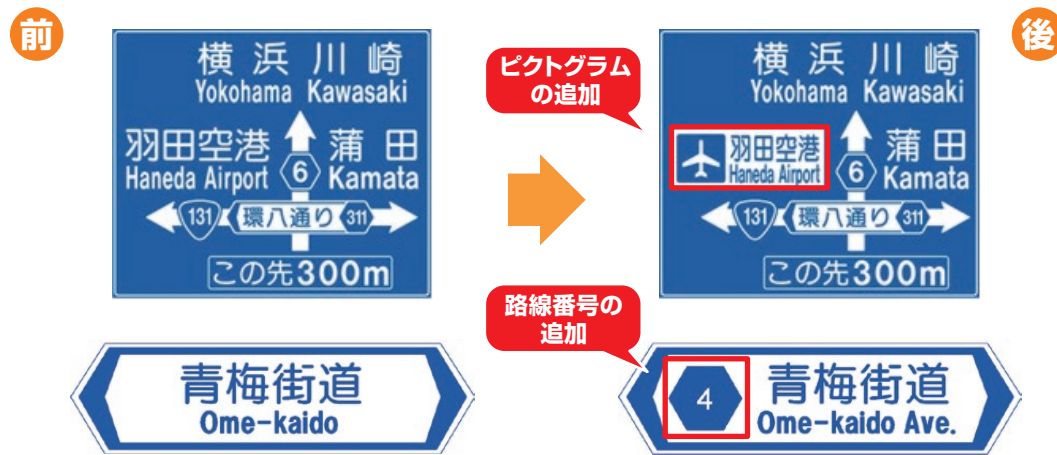
### 重点整備エリア・重点整備路線図



### 英語併記の例



### ピクトグラム、路線番号の追加の例



### 通称名表示の充実や視認性の向上の例



### 特設展示 「ハペペ博士の研究所」オープン!

恩賜上野動物園飼育展示課は虫類館飼育展示係 齊當史恵

ペンを持つ。蛇口をひねる。てくてく歩く。手や足を使って暮らす私たち人間。実は、それはとても不思議なことです。なぜなら、海で生まれた私たちの祖先は手も足も持っていなかったのですから。

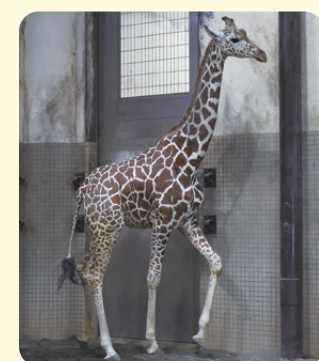
「あしはどこからやってきたのか?」「なぜ、あしは多様なのか?」「なぜ、あしを失った生き物がいるのか?」

そんな壮大なテーマに両生爬虫類のあしから迫るのが、今年3月にオープンした「両生爬虫類館特設展示ハペペ博士の研究所—あしのナン」です。4年前に好評だった特設展示「両生爬虫類鑑あし」をリニューアルしてオープンしました。この展示では、あしの誕生に魅せられ、人生を捧げているちょっと変わり者の「ハペペ博士」が登場します。博士は制作スタッフの想いのつまった架空の人物。森の中にある(自称)研究所で熱心に研究をしています。

博士の研究所は、呆れるほどの散らかりようです。本に標本、よくわからないガラクタでいっぱい。壁のあちこちに走り書きが貼ってあり、カエルやカメレオン、ヘビやハイギョの水槽が所狭しと並んでいます。どうやら博士は、あしの誕生と進化のなぞを解く「鍵」は、この動物たちだと考えているようです。ほら、今日も研究所の扉は開きっぱなし。どうやら孫娘とカエル探しに出かけたみたい。こっそり中を覗くなら、いまがチャンスですよ。

### 動物園の“かお” 上野動物園 キリン

2017年4月に盛岡市動物公園から上野動物園にやって来たキリンの「リンゴ」(メス)です。ぜひ会いに来てください。



(写真は、平成29年4月撮影)